



2020-21 年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは世界の扉を開く

2020-21 年度国際ロータリー会長  
ホルガー・クナーク

RI 2630 地区 岐阜東濃グループ



本日の例会プログラム	
1.	開会点鐘
2.	ソング＝「我らの生業」
3.	ゲスト、ビジターの紹介
4.	食事と交歓
5.	地区役員委嘱状授与
6.	出席報告、ニコボックス発表、委員会報告、幹事報告
7.	雑誌の紹介 (ロータリーの友・月信)
8.	会長の時間
9.	中津川センターRC 会長・幹事ご挨拶
10.	2020年度クラブ定時総会
①	2019～2020 年度事業報告
②	〃 クラブ会計決算報告の承認及び監査報告
③	2020～2021 年度事業計画の承認
④	〃 クラブ会計予算の承認
⑤	その他
11.	閉会点鐘

RIにおける公式文章には、「ロータリーは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指したところの、事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体であるとして、「入りて学び、出でて奉仕せよ」といわれるところ

です。利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に存在する矛盾をやわらげようとするものである。これは哲学であり、「超我の奉仕」であり「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものであるとされる。これは、「利己的な欲求」と「他人への奉仕」という、相反する二つの心の葛藤を調和するものとされています。

ロータリーの定義として、2800地区鈴木パストガバナーは①ロータリアン同志の親睦「精神的親睦」を基盤に②立派なロータリアンを育てながら③価値ある奉仕「職業奉仕」を通じて、社会に貢献する世界的な団体であると述べ、一回きりの人生を精一杯生きる。ロータリアンも職業人として、職業奉仕で精一杯生きることが大切である。どのように生きていくのかというと、全てのことに感謝して、おかげさまでという謙虚な気持ちで生きていく。ロータリーは人集め金集めの団体ではない。心を集める団体であるとされています。

本日の例会には中津川センターロータリークラブ鷹見会長・佐古幹事の訪問をいただいております。共にクラブ運営を楽しんでまいりたいと思います。鷹見会長には後ほど例会の中でご挨拶をいただきますので、よろしくお願ひします。

本日は中津川ロータリークラブ定時総会の開催を致します。総会では議長をつとめさせていただきます。慎重審議の程よろしくお願ひ申し上げ会長の時間とします。



イワツツジ咲く阿寺溪谷 撮影 原眞平君



会長の時間

2020-2021 年  
第 63 期 中津川ロータリークラブ  
会長 長野 和夫

『2630 地区 劔田ガバナーからの配信』

最初の会長の時間となります。緊張の時がはじまりました。1年間つたない会長の時間をロータリーの友情をもってお付き合いいただきますようお願い申し上げます。

7月3日の金曜日に劔田廣喜ガバナーより、ガバナー公式訪問についての動画がYouTubeにて配信されてまいりました。1月にアメリカで開催されましたガバナーエレクト歓迎晩餐会において、2度目のガバナー就任ということで、クレイジーだといわれたそうです。

今年は、日本ロータリー創立100周年の記念の年です。この劔田ガバナーの配信は、公式訪問に向けてのものですが、その中では、各クラブがコロナ感染症の発生により、親睦や自己研鑽が希薄となり人材の育成と発掘が行われているかどうか、また、退会者の増加を防止できているかを懸念されています。3年未満の退会者が52%ということで、ロータリーがわからないのがその退会の理由ではないかと述べられています。

この中で、劔田ガバナーはロータリーとは何かを理解するのが必要であるとして、ポールハリスは他人の良さを認め、他の人と交わり、助け合うならそれがロータリーである。とされています。

また、ハーバート・テラー(1954-55)は、友情を育くみ、人と社会を作り、世界の人々に善意と友情を芽生えさせる団体である。

ウィリアム・ロビンズ(1974-75)は、ロータリーの第一の仕事は人を作ることである。